

# 第 75 回全国高等学校 PTA 連合会大会 2026 大分大会

## 参加報告書

2026 年 8 月 22 日

開催日時：2026 年 8 月 20（木）～21 日（金）

参加分科会：第 4 分科会（防災教育）

テーマ：災害から護る力

演題：「過去の災害から学び未来へとつなぐ防災教育」

講師：大分大学 減災・復興デザイン教育研究センター長 鶴成悦久 教授

### 1. 分科会概要

全国規模で多発化・激甚化する自然災害は、我々の身近な場所でいつ・どこで発生しても不思議ではない時代となっている。地域社会全体で災害に立ち向かう減災社会を構築するため、過去の災害の教訓を未来へつなぐ防災教育について考察することを目的として開催された。

### 2. 講演内容の要旨

- 災害は特定地域だけの問題ではなく、誰もが当事者となり得る社会課題である。
- 防災は知識の習得だけではなく、いざという時に行動できる力を育成することが重要である。
- 過去の災害から得られた教訓を風化させず、次世代へ伝承することが減災につながる。
- 家庭・学校・地域が連携し、自助・共助を支える防災教育の推進が必要である。

### 3. 活動への示唆

PTA は家庭と学校、地域をつなぐ重要な役割を担っている。防災教育においても、保護者防災意識向上、生徒の主体的な防災活動の支援、地域との連携促進が求められる。

### 4. 今後の提案

- ☐ 親子参加型防災研修・講演会の実施
- ☐ 地域防災訓練への積極参加
- ☐ 防災体験や教訓を共有する機会の創出
- ☐ 高校生防災リーダーの育成

### 5. 所感

今回の分科会を通じて、防災教育とは単なる災害知識を学ぶことではなく、過去の経験と教訓を次世代へ継承し、実際の行動につなげる教育であることを学んだ。災害に強い地域づくりのためには、家庭・学校・地域が一体となり、日頃から備えと対話を重ねることが重要であると感じた。また、人財育成と同様に、防災教育も経験を未来へ伝える活動であり、その継続が地域の安全と安心につながると考える。

## ■参加の様子

